

事務事業名		雲南北地区中山間地域総合整備事業負担金		所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
総 計 画 体 系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>		所属G	土地改良G	課長名	渡部 克彦
	施策名	(36)農業の振興		担当者名	金山 雄児	電話番号	0854-40-1053
	目的 対 象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農 業所得が向上する。		(内線)	3710
	基本事業名	(107)農業基盤の整備		予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 1 業名 項 目 中事業 中事 0 5 5 0 0 5 業名	中山間地域総合整備事業 雲南北地区中山間地域総合 整備事業	
目的 対 象	担い手農家・担い手以外農家	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (24 年度 ~ 29 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
(H26事業費負担金) 農業用排水路: 8,770千円(10%) ほ場整備: 28,380千円(10%) 暗渠排水: 2,400千円(10%) 集落防災施設: 9,920千円(25%) 鳥獣侵入防止柵: 4,125千円(15%) 合計: 53,595千円
(全体負担金見込) 農業用排水路: 28,643千円(10%) ほ場整備: 92,636千円(10%) 暗渠排水: 10,685千円(10%) 鳥獣防護柵: 30,780千円(15%) 集落防災施設: 35,187千円(25%) 合計: 197,931千円

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	26年度実績(26年度に行った主な活動) ・島根県で発注する農業用排水路工事、ほ場整備測量・設計・工事、暗渠排水工事、鳥獣侵入防止柵工事、防火水槽工事の地元調整。 ・鳥獣侵入防止柵工事、防火水槽工事の地元分担金徴収事務。 ・市負担金の支出。	27年度計画(27年度に計画する主な活動) ・島根県で発注する農業用排水路工事、ほ場整備測量・設計・工事、暗渠排水工事、鳥獣侵入防止柵工事、防火水槽工事の地元調整。 ・防火水槽、鳥獣防護柵の地元分担金徴収事務。 ・市負担金の支出。				
	② 活動指標	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)
	ア 説明会等の回数	回	80	84	86	28
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)
	事業実施地区の受益者	ア 受益戸数	箇所	542	456	436	188
		イ					
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (計画)
	ほ場整備により水田の区画拡大、農業用排水整備による安定的な用水確保、暗渠排水整備による乾田化、防護柵設置による鳥獣被害の防止等、受益者の生産効率向上が図られる。	ア 事業実施箇所数	箇所	50	42	43	14
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
(H26事業費負担金) 農業用排水路: 8,770千円(10%) ほ場整備: 28,380千円(10%) 暗渠排水: 2,400千円(10%) 集落防災施設: 9,920千円(25%) 鳥獣侵入防止柵: 4,125千円(15%) 合計: 53,595千円	財源内訳	千円	0	0	0	0
	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	19,700	29,000	47,900	42,850
	その他	千円	439	465	3,295	500
	一般財源	千円	3,178	2,980	2,400	3,575
	事業費計 (A)	千円	23,317	32,445	53,595	46,925
	人件費	人	3	3	3	
	正規職員従事人数	時間	240	240	240	
	延べ業務時間	千円	940	934	933	
	人件費計 (B)	千円	24,257	33,379	54,528	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・平成23年度に大原地区中山間地域総合整備事業が完了し、平成24年度から雲南北地区中山間地域総合整備事業が実施された。	特になし	・事業実施地域からは、早期完成の要望が寄せられている。 ・雲南北地区事業に採択されなかった地区からは追加事業の実施要望がある。

事務事業名	雲南北地区中山間地域総合整備事業負担金	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																			
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																				
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																				
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																			
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																				
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	国の事業採択を受けた計画地のみ実施している。事業実施にあたり、地元要望を確認しながら進められており、地元要望に沿った事業(成果の向上)となるよう努められている。																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																				
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	(県営)中山間地域総合整備事業ができなくなる。																	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																				
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	地元負担が軽く、総合的な基盤整備ができる事業が他にない。																			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業は、費用対効果、経済性を考慮し計画されている。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																				
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	実施地区が広範囲であるため、大東町・木次町・加茂町と担当地区を分けている。地元負担金がある事業であり、地元要望を適切に事業に反映する必要を考えると事務を簡素化できない。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																				
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	対象地域は限定(事業採択地区のみ)されているが、広く要望を取りまとめたものに対し、緊急度や効果を算定し計画されている。また、事業受益者からは定率の受益者負担金(5%)を徴収している。																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																				
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																		
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			② 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
・中山間地域の条件不利地での農地基盤整備ができる事業であり、受益者負担も少ない(5%)。 ・本事業に採択されなかった地区からは、追加事業の実施要望がある等、農業者のニーズが高い事業である。 ・継続的に事業を実施していく必要がある。			廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		

3 今後の方向性【PLAN】